

科目責任者 畑澤 裕子、リスナー・フランク、宗宮 朋子

授業担当者 A組：宗宮 朋子、B組：リスナー・フランク、C組：畑澤 裕子

■ 教育目的（各クラス共通）

- 1年次の「入門」と「基礎」で学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、基礎知識の定着を図るための実践練習を積む
- 日常生活のさまざまな場面で使える語彙をふやし、基本文型を用いた会話表現ができる。
- 辞書を活用し、基本文法の知識を応用しながら、平易なドイツ語の文章を理解する力を養う。
- ドイツの童話作品、文化紹介、あるいは最近の医薬ニュース、ドイツの医療事情など、多角的な教材の学習を通して、総合的なドイツ語力をつける。
- 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を役立てられるような語学力を養う。

■ 学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音に習熟し、テキストを音読できる。
2. 基本的な語彙と構文を用いて、ドイツ語での平易な文章表現ができる。
3. 基本文法の知識を定着させ、比較的長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。

■ 授業内容

A組 宗宮 朋子

この授業では、様々な種類のテキスト（医薬関係、ドイツ文化紹介、時事ニュース、簡単な文学作品等）を読みながら、1年次で学んだ文法事項を復習し、さらに高度な文法事項を学習していきます。

前期は、テキストを精読して、ドイツ語の文構造に慣れることを目指します。その際、ドイツ語圏の社会事情にも触れ、異文化理解を深めます。

準備学習（予習・復習）：予習：前回の授業までに出てきた単語および文法項目を暗記しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。学期末試験の成績（90%）、出席状況および授業態度（10%）で総合評価する。

教科書：プリントを配布します。

参考書：独和辞典（電子辞書可）、1年次に使用したドイツ語の教科書

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る

B組 リースナー・フランク

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。教科書は各課ごとにドイツ人の生活をテーマにしています。文法の復習をしながら、会話の練習と新たな文法知識を積み重ねていき、各テーマについて考察します。

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる（30分）／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。（30分以上）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。【成績評価方法】期末試験（80%）、授業意欲（20%）で総合評価する。

教科書：『ドイツの人と暮らし』 池田信雄 他 著（朝日出版社）2014

参考書：独和辞典（電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可）、1年次に使用した文法の教科書は、手元に置いて参照できるようにしてください。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る。

C組 畑澤 裕子

1年次に習った文法事項を確認しながら、新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきましょう。様々な内容のまとまった文章を読みながら、随時、簡単な会話練習も行います。習得した文法知識を使いこなす楽しさを味わいながら、ドイツの文化や社会事情にも関心を持って、積極的に授業に参加してください。

準備学習（予習・復習）：予習：新しい単語を辞書で調べておく／復習：新しく学んだ構文や表現を整理して覚える

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（80%）、小テスト（20%）で総合評価する。

教科書：『ドイツ語トライアングル』 荻原耕平 他 著（同学社）

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典（電子辞書可）を持ってくること

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る